

平成27年度 決算審査・認定！

～繰越金一般会計10億6260万円～特別会計1億6304万円

会計別区分 (単位：万円)	歳入決算額	歳出決算額
一般会計	93億6516万円	83億0256万円
国民健康保険	21億5150万円	20億9603万円
農業集落排水	5050万円	4920万円
生活排水処理事業	9794万円	8929万円
介護保険	13億5171万円	12億9174万円
住宅新築資金	264万円	259万円
後期高齢者医療	1億3817万円	1億2897万円
簡易水道	1億4826万円	1億1986万円
上水道事業	3369万円	2711万円

*表示単位未満を四捨五入しているため、実額と相違している場合があります。

一般会計の歳入の総額は、前年度と比べ4億6085万円増額（前年度対比5・18%増）となったが、健全な財政運営に向け、基金の積立、償還金の返済もでき、実質単年度収支も黒字決算となった。しかし今後は熊本地震関連の支出が大幅に増加する事が懸念される。

一般会計・特別会計・公営企業会計 全て黒字決算！

【監査委員意見書抜粋】

代表監査委員 興梠 良藏
議選監査委員 伊藤 清起

平成27年度一般会計・特別会計・公営企業会計各々の決算、基金の運用状況と併せて「地方公共団体の財政健全化に関する法律」に基づく財政指標等について審査を行なった。各課・局ともに係数に誤りはなく、関係諸表も全体的に整理され会計処理は正確であると認めた。

熊本地震により行政の支援が急を要する面が多面にある。執行部に於いては、いかなる状況にあっても臨機応変に対応できる体制の構築を望む。



代表監査委員
興梠良藏氏

貯金

28万2千円
(昨年度 29万7千円)
比較-1万5千円

〈基金〉



借金が増えた要因としては、統合中学校整備費・新庁舎建設工事費等によるものである。

〈起債〉

借金

85万7千円
(昨年度 77万2千円)
比較+8万5千円

H27年度末（一般会計）
村民一人当たりの貯金と借金

基金の状況 (目的のために資金を積み立てるもの)		村債の状況 (借金して資金を集めるもの) ※歳入の約8割が交付税の対象となる。	
区分	H27年度末残高	区分	H27年度末残高
財政調整基金	14億6532万円	臨時財政対策費	35億3746万円
地域福祉基金	3億1381万円	過疎対策事業費	37億8821万円
公共施設等整備基金	3億2184万円	一般単独事業費	21億5786万円
農業基金	2億19万円	教育・福祉施設等整備事業費	3億9643万円
合併特例措置逕減対策準備基金	6億128万円	その他	3億0806万円
その他（特別会計含む）	5億5212万円	特別会計	4億6110万円
合計	34億5456万円	合計	106億5327万円